

番号	24	平成28年度公共事業再評価調査				担当課名	砂防課
事業名	急傾斜地崩壊対策事業			事業主体	静岡県		
箇所名	よこたきゅうめい 横田久命			関係市町村	松崎町		
事業採択年度	平成 19 年度		計画期間	平成19年度 ~ 平成30年度			
用地着手年度	平成 19 年度		工事着手年度	平成 19 年度			
再評価理由※	再評価実施(H23)後5年間が経過した時点で継続中						
全体事業費	百万円 484	投資状況 (百万円)	~H26年度 346	H27年度 40	H28年度見込 46	計 432	
事業概要	<p>(1)事業目的 急傾斜地崩壊防止施設を設置することにより、住宅等に及ぶがけ崩れ災害を防止し、住民の安心・安全な生活基盤の確保を図る。</p> <p>(2)事業内容 延長404.0m もたれ式擁壁延長161.0m 重力式擁壁延長118.5m 張コンクリート延長69.7m 落石防止柵工延長409.0m 吹付法砕工面積695.1m<sup>2</sup></p>						
【視点1】 事業の 必要性	<p>(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 今回地域住民7戸にアンケート調査を行った結果、「今後も大澤地区の急傾斜地崩壊対策事業を進める必要があるか」の問いに対して、すべての方が「非常に感じる」と回答しており、地元の事業に対する期待も非常に大きい。</p> <p>(2)事業の投資効果 投資効率(費用対効果) : 1.84 総便益 : 945.9百万円 総費用 : 515.4百万円 急傾斜地の崩壊の際に被害を受ける区域には、人家18戸、一般県道湯ヶ野松崎線、二級河川那賀川、普通河川大澤川がある。特に、保全対象である湯ヶ野松崎線や町道は避難路としての位置づけがされ、当該区域及び迂回路のない住民の土砂災害時の避難路確保のためにも、斜面对策工が望まれる。</p> <p>(3)事業の進捗状況(H28末) 事業費進捗率 : 89.4% (432百万/484百万) 事業量進捗率 : もたれ式擁壁 91.9% (149.0m/162.0m) 重力式擁壁 100.0% (118.5m/118.5m) 張コンクリート 100.0% (69.7m/69.7m) 吹付法砕工 41.7% (290.1m<sup>2</sup>/695.1m<sup>2</sup>)</p> <p>評価 継続が妥当 ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>						
【視点2】 今後の 事業の進捗 の見込み	<p>これまで、用地買収や工事協力などの地元調整が円滑に行われており、今後の事業についての反対者等もない。アンケート結果でも、回答者のすべてが「事業を継続する必要性を感じる」と回答しており、事業に対する地元の要望も強い。 引き続き、地元の協力関係の維持・向上などに努めることから、今後も事業は順調に進捗し、平成30年度完了見込みである。</p> <p>評価 継続が妥当 ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>						
【視点3】 新たなコスト 縮減・代替案 立案等 の可能性	現場発生土について、町内や近隣の工事箇所との調整を図り、運搬費や処分費の低減を図り、コスト縮減に努める。						
対応方針 (案)	<p>(1)対応方針(案) 本事業を( 継続 ) ・ 見直し後継続 ・ 中止 )する。</p> <p>(2)理由 事業は順調に進捗しており、費用対効果も認められることから、事業を継続して整備の促進を図る。</p>						

## 費用対効果算出説明書

### 「横田久命」急傾斜

(「急傾斜地崩壊対策事業の費用便益分析マニュアル(案)」建設省砂防部)

#### 総括表

総便益B	[事業を実施しない場合の被害額]－[事業を実施した場合の被害額]	945.9百万円
総費用C	[建設費]＋[評価期間内に必要な維持管理費]	515.4百万円
<b>B/C</b>		<b>1.84</b>

#### 総便益

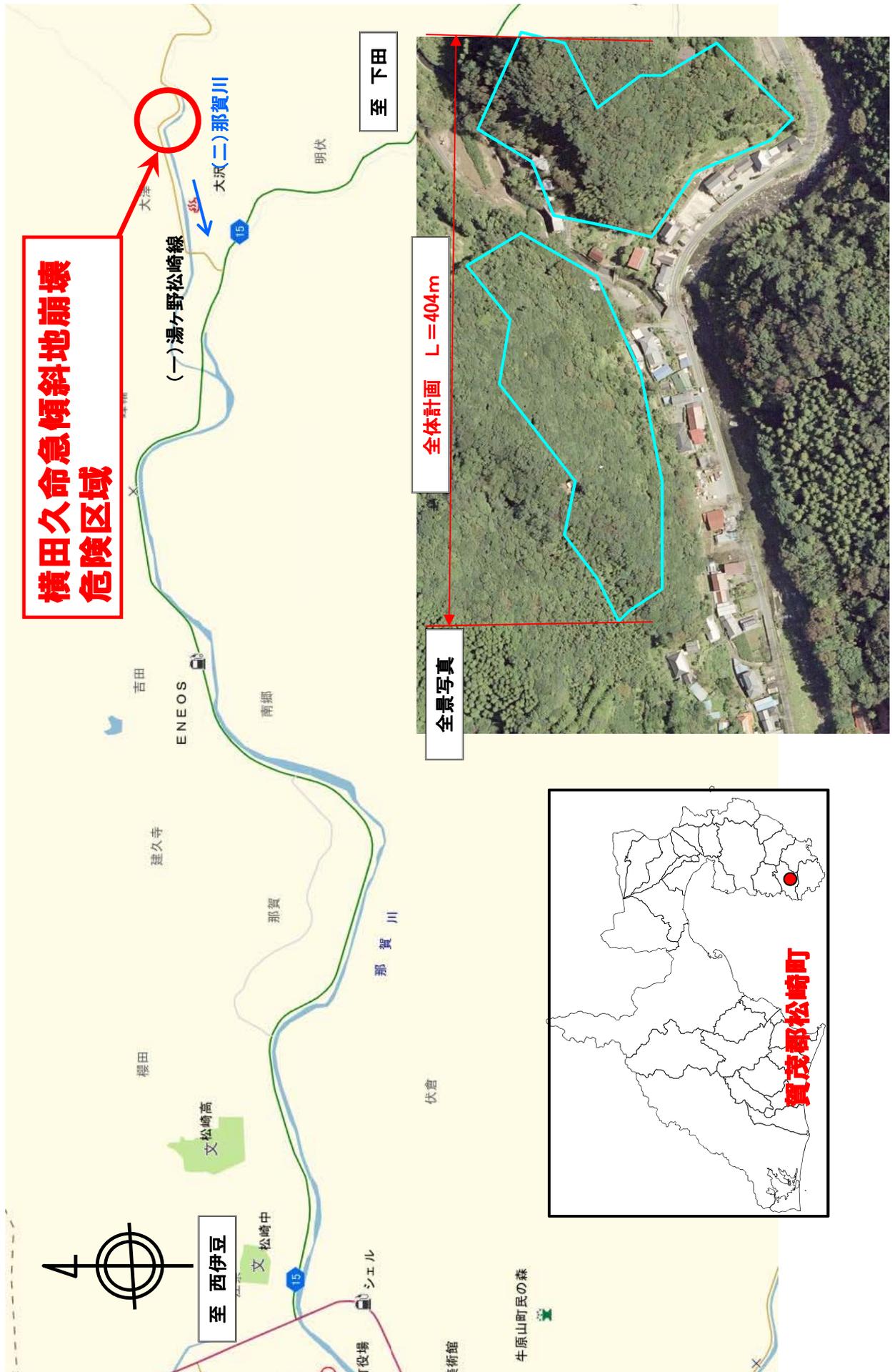
[急傾斜事業を実施しない場合の被害額]－[急傾斜事業を実施した場合の被害額]  
 年平均被害軽減期待額を評価対象期間62年(整備期間12年＋耐用期間50年)について累計する。  
 ただし、年平均被害軽減期待額は算出基準年(平成28年)に基づく社会的割引率(4.0%)で現在価値化したものとする。  
 便益計 =  $\sum$  年平均被害軽減期待額 /  $(1+0.04)^n$   
 = 945.9百万円

- ※ 年平均被害軽減期待額: がけ崩れ発生の生起確率(1/10年超過確率降雨及び1/50年超過確率降雨)それぞれに対応した被害軽減額の平均値の合計。
- ※ 人的被害額/1人あたりは、1/50年超過確率降雨のみで発生し、市町の人口比率を反映した各年齢別人的被害額の平均額である。その平均額を被害想定区域内の死者数を想定し乗じて人的被害額を算定する。
- ※ 整備期間中の被害軽減額は、事業費に比例して発生するものとする。

#### 総費用

[建設費]＋[評価期間内に必要な維持管理費]  
 各年次の建設費と維持管理費(過去5ヶ年の平均値)を評価対象期間62年(整備期間12年＋耐用期間50年)について累計する。  
 ただし、各年次の建設費及び維持管理費は、算出基準年(平成28年)に基づくデフレータ及び社会的割引率(4.0%)で現在価値化したものとする。  
 費用計 =  $\sum$  年間建設費 /  $(1+0.04)^n$  +  $\sum$  年間維持管理費 /  $(1+0.04)^n$   
 = 513.2百万円 + 2.1百万円  
 = 515.4百万円

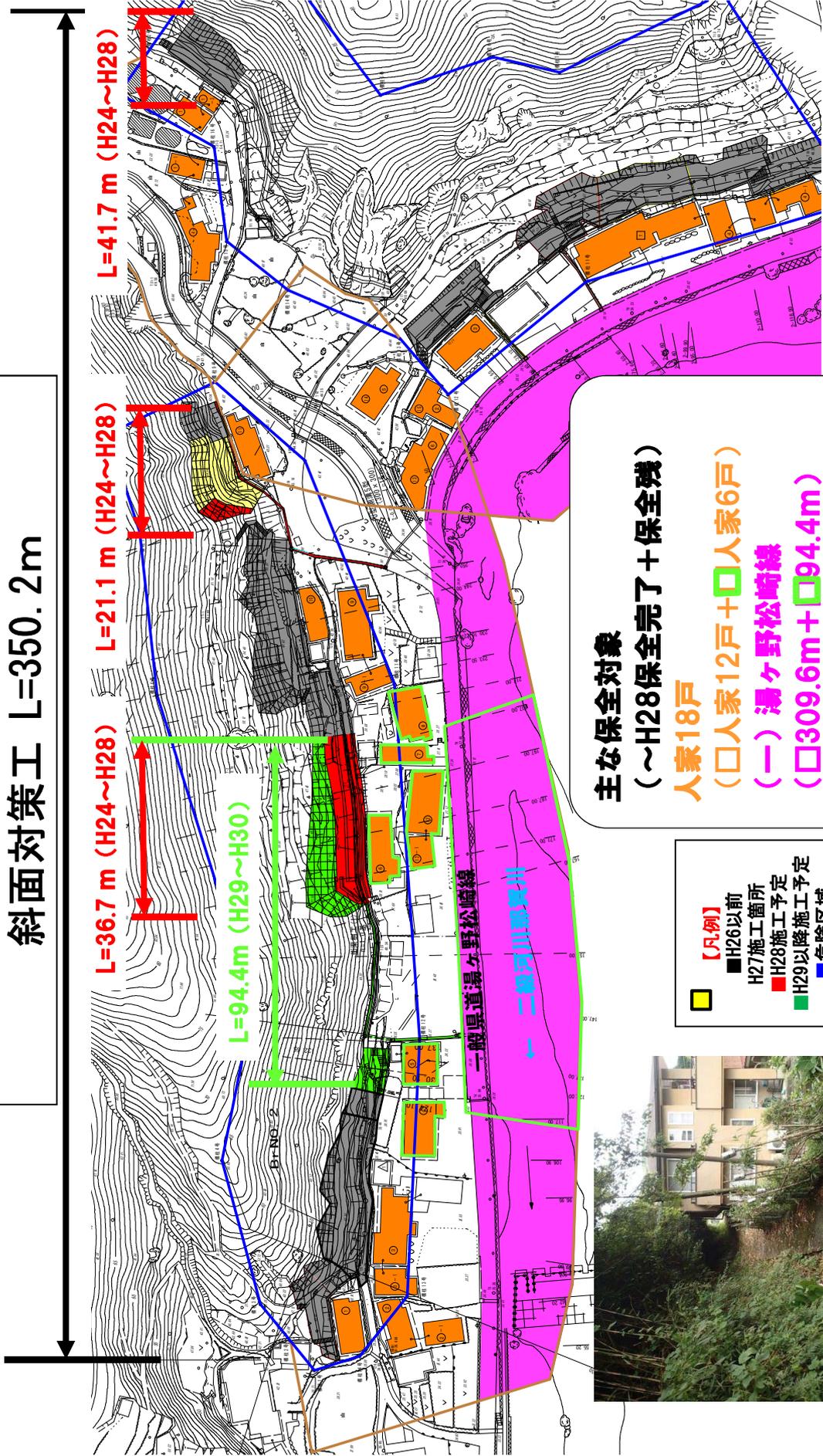
# 横田久命急傾斜事業の位置



# 横田久命急傾斜事業概要

全体計画 計画延長 L=404.0m

斜面对策工 L=350.2m



**主な保全対象**  
 (～H28保全完了+保全残)  
 人家18戸  
 (□) 人家12戸 + (□) 人家6戸  
 (一) 湯ヶ野松崎線  
 (□) 309.6m + (□) 94.4m  
 (二) 那賀川  
 (□) 309.6m + (□) 94.4m

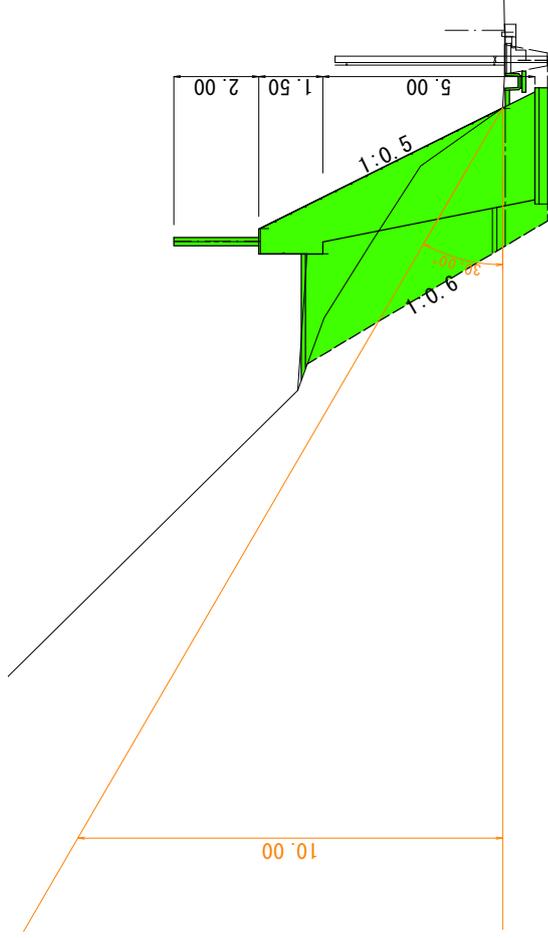
- 【凡例】
- H26以前
  - H27施工箇所
  - H28施工予定
  - H29以降施工予定
  - 危険区域
  - 被害想定区域



H29年度以降施工区間

# 施設の整備状況と今後の対策工事

代表横断面図

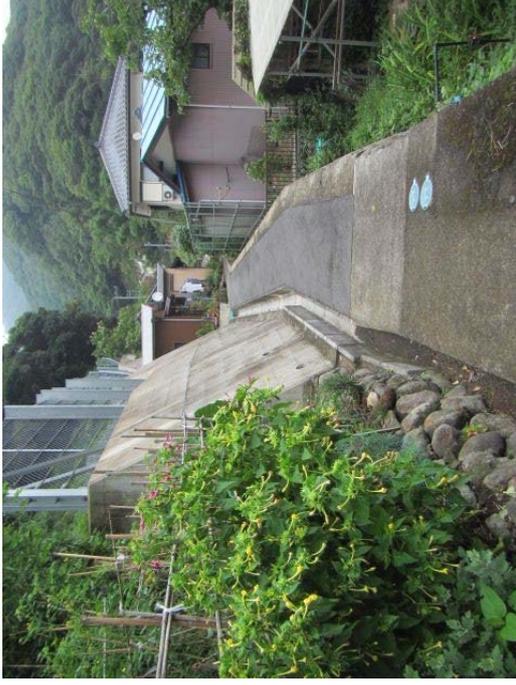


総便益	945.9百万円
総費用	515.4百万円
B/C	1.84

事業の進捗状況(H28末)

- 事業費 89.4%
- 擁壁工 96.5%
- 法面工 41.7%

施設整備を継続し、  
人家18戸の保全を  
図る



①擁壁工(整備済箇所)



②擁壁工(整備予定箇所)